

SPring-8共用実験データ・ ネットワークポリシー等の策 定について

2020年10月2日

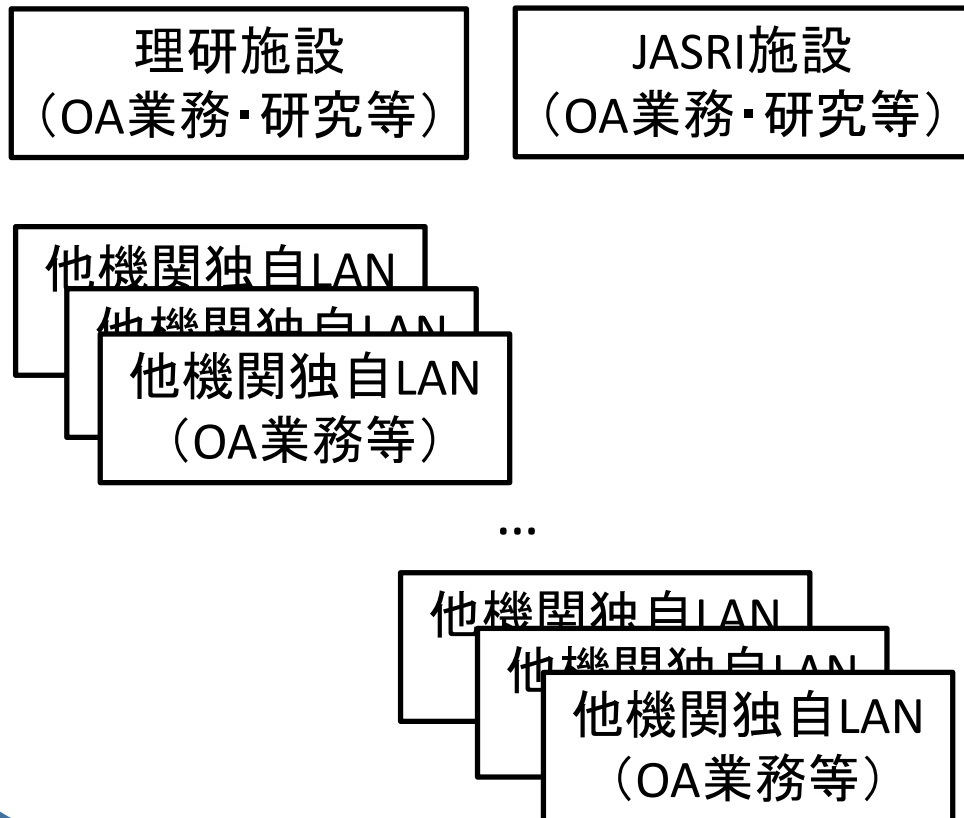
SPring-8データ・ネットワーク委員会事務局

背景

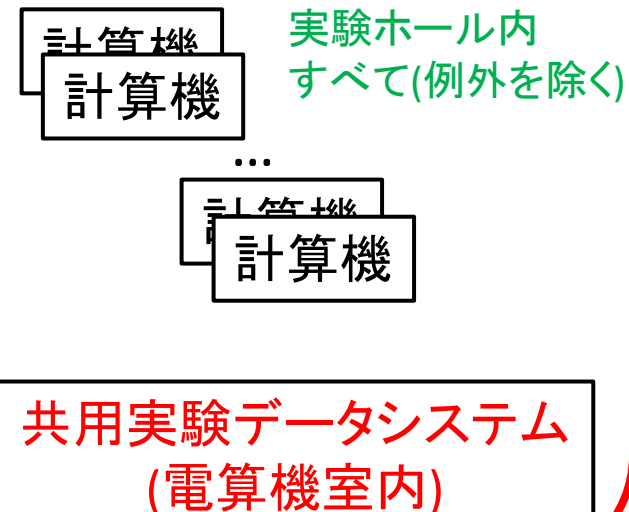
- SPring-8/SACLAの利用実験において、今や計算機・ネットワークシステムは不可欠なものとなっています。しかしながら、これらの計算機・ネットワークは、分担する組織ごとに別々のルールで運用・利用されてきました。
- SPring-8次期計画に向け、共用実験データシステム・共用実験ネットワークシステム的大幅な改修を計画しています。今後の改修を見据えると、利用実験に関わるデータ・ネットワークの運用方針と責任体制を定めることが必須です。
- SPring-8/SACLAのデータ・ネットワークシステム運用方針の意志決定機関として「SPring-8共用実験データ・ネットワーク委員会」を組織して責任体制を明確にするとともに、統一された方針に基づく運用を行いたいと考えています。

共用実験データ・ネットワークシステムの範囲

各組織のルールが運用されるネットワーク



共用実験ネットワーク

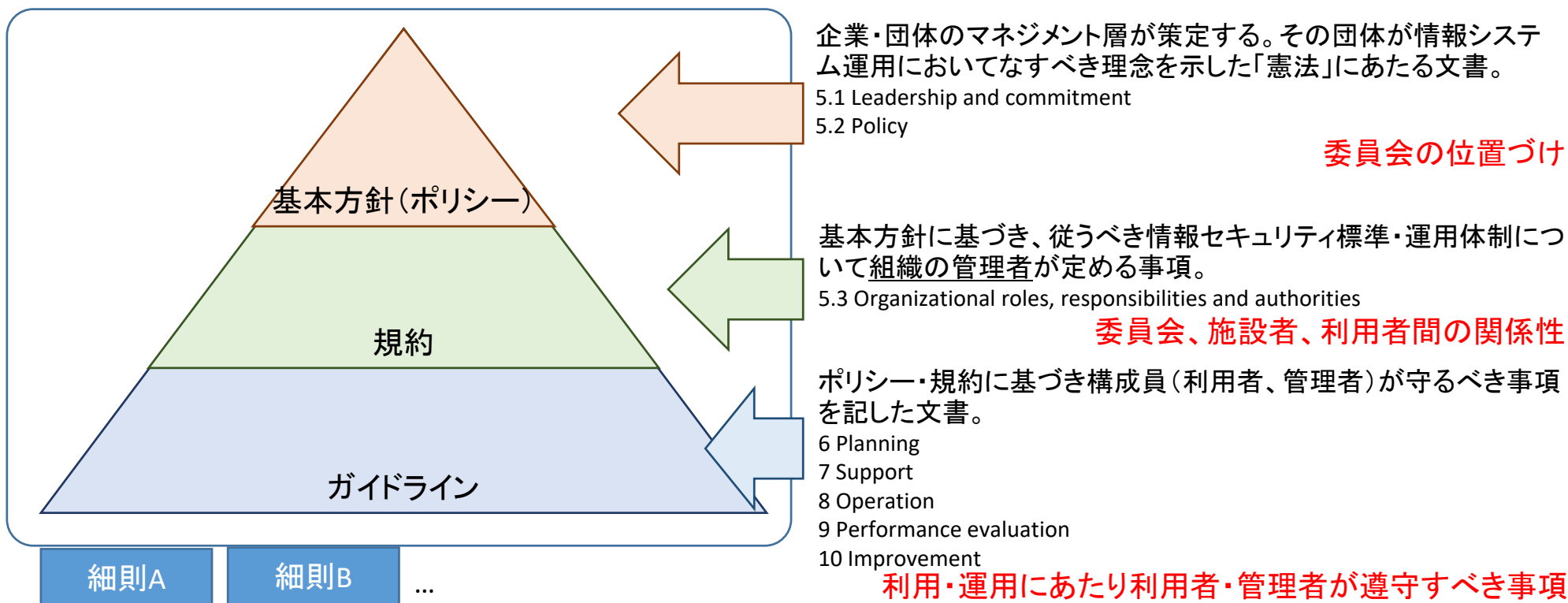


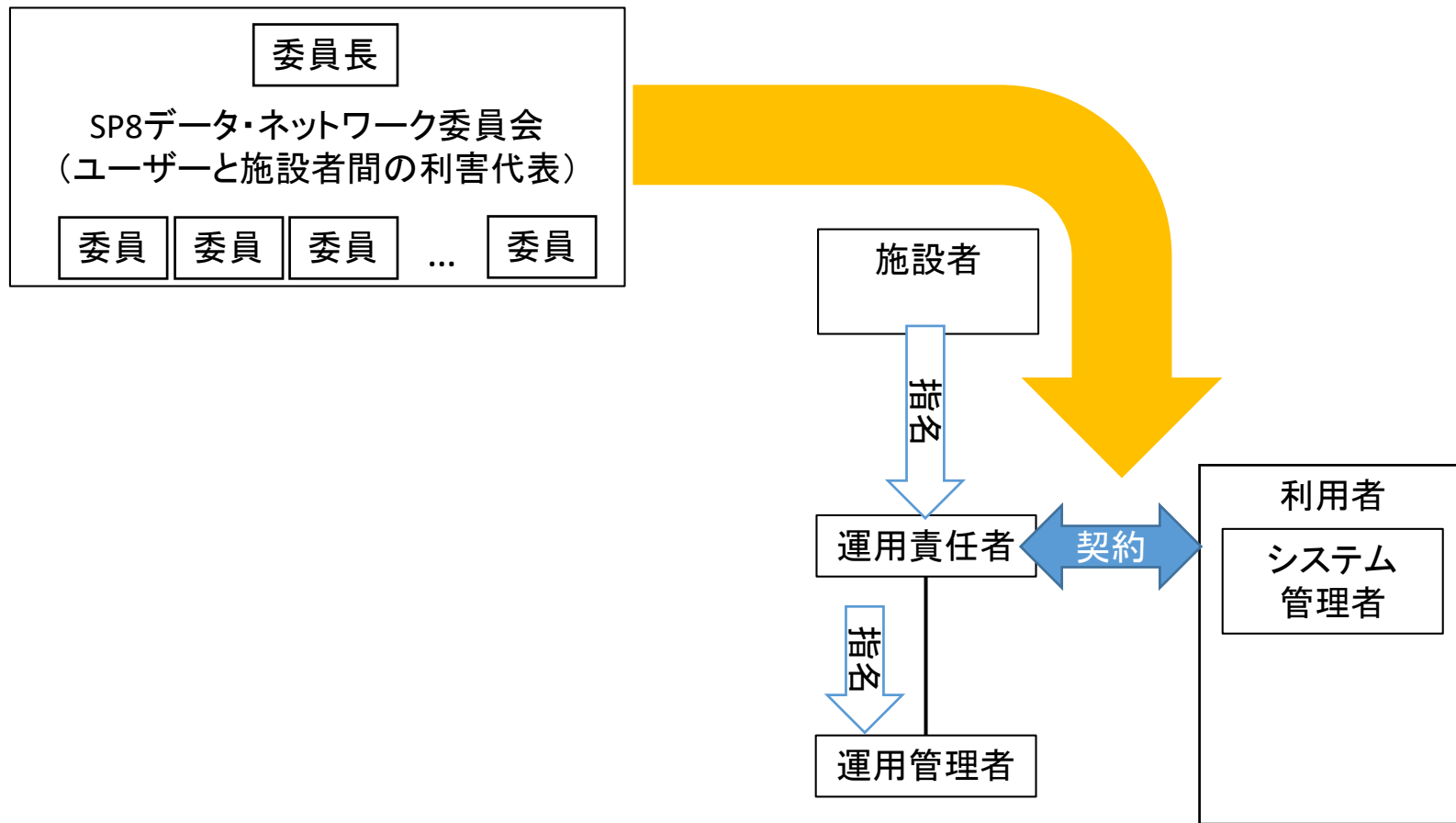
今回、ご議論いただきたいこと

- 以下3文書(事前配布済み)を策定し、SPring-8/SACLAの共用実験データ・ネットワークシステム利用・運用における利用者-施設者間の基本的な方針としたいと考えています。
 - 基本方針(ポリシー)
 - 規約
 - ガイドライン(各文書の位置づけは後のスライドで説明します)
- SPring-8/SACLAの共用実験データ・ネットワークシステムを利用するすべての方は、上記文書に同意していただく形を考えています。
- 本委員会(あるいは後日のメール審議)でご承認いただいた場合、**2021年4月1日から**本文書を発効する予定です。文書は発効されるより前にWeb上に公開いたします。

3文書の位置づけ

ISO 27001 / JIS Q 27001規格(情報セキュリティマネジメントシステム:ISMS)において規定された組織・役割・権限を基本として、SPring-8/SACLAの現状に即して構成しています。





- 共用実験データシステムおよび共用実験ネットワークに関わる基本方針
- 共用実験データシステムおよび共用実験ネットワークに関わる管理運用体制規約
- 共用実験ネットワーク利用ガイドライン